

2022年度事業報告書

NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会

1 事業の成果

(1)自然環境の調査研究事業

環境省「モニタリングサイト1000里地調査」(植物、チョウ、カヤネズミ、ホタル、カエル、鳥、哺乳類)は15年目となり、すべての調査を継続することができた。2月11日には、毎年恒例のふる里散歩でモニタリング1000里地調査体験を行った後、飯能市立博物館で市、西武鉄道等を招待して調査報告会を開催し、調査結果やナラ枯れ状況を検討した。

(2)自然環境保全にかかる普及啓発事業

「ふる里散歩」はコロナ対策をしつつ7回(8月は天候により中止)開催し、四季折々の動植物を観察した。また、会報「やませみ」(85~86号、各2000部)の作成・配布方法を見直し経費節減に努めつつ、HP、Facebook等の充実、市立博物館の展示への協力など、市民への普及啓発に努めた。

(3)自然環境の保全事業

東谷津では、毎月ビオトープ池の整備や草刈りなどにより水辺や草原等の里山景観の維持を図った。

天覧山谷津では、コロナ対応で中止していた米作りを3年ぶりに再開して、田んぼやため池・水路の整備、小学校児童による田植え・稲刈り支援により米の収穫ができ、11月の里山復活祭も開催することができた。

一方、ナラ枯れの進行がさらに進み、カエンタケ発生の顕在化、大規模な枯れ木の伐採など里山環境が急変しつつあり、生物多様性への影響を注視してきた。

(4)里山文化の再生・創造事業

10月の「かい掘りエコツアー」、12月の「年忘れ里山感謝デー」を開催し、楽しみながら里山の再生・創造を行ったが、3月の「薪割り・スウェーデントーチ・エコツアー」は天候により中止となった。

(5)自然環境保全に係る企画提案事業

市エコツーリズム事業、はんのう市民環境会議に参画し、市・西武鉄道等との情報・意見交換を図ることにより、当会事業の効果的展開に努めた。また、環境省が進める生物多様性を実現するための「30by30アライアンス」に参画し、天覧山・多峯主山の自然共生サイト認定に協力することとした。

2 事業の実施に関する事項(2022年4月1日～2023年3月31日)

特定非営利活動に係る事業							
定款の事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲・人数	支出額(千円)	
自然環境の調査研究事業	環境省モニタリングサイト1000里地調査	4-3月	天覧山周辺	100人	全国	—	0
	調査結果報告会	2月11日	市立博物館	7人	市民	15人	0
自然環境保全に係る普及啓発事業	ふる里散歩(定例自然観察会)等	4-2月	天覧山周辺	25人	市民	70人	33
	会報「やませみ」等作成配布(85-86号)	6,1月	市内	15人	市民	4,000人	76
	HP、Facebook、メーリングリスト運営等	4-3月	ネット上	10人	市民	1万人	3
自然環境の保全事業	固定資産税	4-3月	東谷津	—	市民	—	54
	天覧山谷津里づくりプロジェクト(月1回)	4-3月	天覧山谷津	30人	市民	100人	0
	東谷津保全作業(月2回)	4-3月	東谷津	80人	市民	200人	14
里山文化の再生・創造事業	かい掘り等エコツアー(薪割りは中止)	10月	東谷津	6人	市民	10人	16
	年忘れ里山感謝デー	12月	東谷津	5人	市民	15人	10
自然環境保全に係る企画提案事業	飯能市エコツーリズム事業への参画	4-3月	市内	5人	市民	—	0
	はんのう市民環境会議への参画	4-3月	市内	30人	市民	300人	0
	市・西武鉄道等との情報・意見交換	4-3月	市内	5人	市民	—	0
	環境省30by30アライアンスへの参画	5-3月	市内	5人	市民	—	0